

# 一般会計予算決算常任委員会記録

平成30年6月27日

【開催日】 平成30年6月27日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時15分

【出席委員】

副委員長	河野 朋子	委員	伊場 勇
委員	大井 淳一郎	委員	岡山 明
委員	奥 良秀	委員	河崎 平男
委員	笹木 慶之	委員	水津 治
委員	杉本 保喜	委員	高松 秀樹
委員	恒松 恵子	委員	中岡 英二
委員	中村 博行	委員	長谷川 知司
委員	藤岡 修美	委員	松尾 数則
委員	宮本 政志	委員	森山 喜久
委員	山田 伸幸	委員	吉永 美子

【欠席委員】

委員長	矢田 松夫		
-----	-------	--	--

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

副市長	古川 博三	教育長	宮内 茂則
総務部長	芳司 修重	企画部長	清水 保
市民部長	城戸 信之	福祉部長	岩本 良治
教育部長	尾山 邦彦	企画部次長兼財政課長	篠原 正裕
財政課課長補佐	大濱 史久		

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	主査兼庶務調査係長	島津 克則
議事係長	中村 潤之介	書記	原川 寛子

【付議事項】

- 1 議案第52号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）  
について

2 議案第57号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）  
について

---

午前10時 開会

---

河野朋子副委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会いたします。本日、委員長から通院治療のため、欠席するとの届けが提出されていますので、私が代わって委員長の職務を行います。本日の審査日程は、お手元に配布してありますとおり進めてまいります。それでは付議事項の1番、議案第52号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に総務文教分科会からお願いします。

伊場勇総務文教副分科会長 6月定例会において一般会計予算決算常任委員会に付託された議案2件についてのうち総務文教常任委員会所管部分について6月13日と6月22日に委員全員出席の下、総務文教分科会を開催し、慎重審査をいたしました。その内容を報告いたします。まず議案第52号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）についてですが、今回の補正の主なものとは歳入では県支出金、繰入金について、歳出では教育費における指導研究費です。審査で明らかになったことは、歳入では、繰入金として、財政調整基金繰入金1,700万1,000円の増額で、予算上の残高は29億5,081万8,000円となりました。また、県支出金として、山口ゆめ花博参加促進事業補助金22万9,000円の増額、県委託金として小中一貫教育推進事業委託金及び小中学校等における起業体験推進事業委託金で75万7,000円の増額、教育費雑入として社会見学参加費負担金23万1,000円の増額です。歳出では、教育費として、指導研究費121万7,000円の増額です。その内容は、県補助事業「山口ゆめ花博参加促進事業」として、小・中学校が山口ゆめ花博を見学する際の自動車借上料46万円を増額します。また、県委託事業「小中一貫教育推進事業」として、校内研修の充実を図るため、報償費、講師謝礼3万円を増額、国内モデル校の視察と小中一貫教育全国サミットに参加するため旅費19万円を増額します。さらに、県委託事業「小中学校等における起業体験推進事業」として、講師を招へいし、研修を行うため、報償費、講師謝礼8万4,000円を増額、先進事例の視察を行うため旅費、費用弁償5万円を増

額、需用費は消耗品、印刷製本費等40万3,000円増額です。質疑では「花博へ社会見学に行くのは何校、何人か」との質問に「厚陽小学校が64名、津布田小学校が29名、埴生中学校が32名である」との答弁。「小・中一貫教育推進事業の目的は」との質問に「小・中一貫カリキュラムや地域の特徴を生かした取組を進めていくために研修を深めて体制を整えていく」との答弁。「起業体験推進事業について、学校名となぜその学校に決まったのか」との質問に「埴生小、津布田小、埴生中、厚狭高で、その理由の一つは埴生地区にノウハウを持った団体、企業があるということ、もう一つは小中一貫校に向けての準備となるため」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

河野朋子副委員長 総務文教分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 花博へ社会見学に行かれるということで、3校を先ほど報告されましたが、なぜ3校であったのか。ほかの学校についてはどのような対応がされるのかお答えください。

伊場勇総務文教副分科会長 市内全校に通知をしたところ、手が挙がったのが3校だということです。現状では3校で確定ということですが、もし増えた場合、県は相談に乗るというスタンスだと聞いています。

河野朋子副委員長 ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。次に民生福祉分科会の報告を求めます。

吉永美子民生福祉分科会長 議案第52号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について、民生福祉分科会担任事項に関し、6月14日、委員全員出席の下、慎重審査しましたので報告します。まず、概要についてです。歳出は、総務費がふるさと推進事業費として230万円の増額、民生費が社会福祉総務費として1,586万7,000円、生活保護総務費として226万8,000円の増額となっています。歳入は、国庫支出金の民生費国庫補助金に生活困窮者自立支援費113万4,000円、諸収入の雑入に宝くじ助成金230万円を計上しています。次に審査の中で明らかになった事項についてです。まず総務費、ふるさと推進事業費の地域コミュニティ事業助成金230万円の内容は、宝くじの社会貢献広報事業により、山陽小野田市ふるさとづくり協議会の綿菓子機、ワンタッチテント等の購入に対し助成金を交付するもので

す。主な質疑について「応募状況は」との質問に「応募は1件で、問合せのみが1件」との答弁がありました。「購入品の内訳について」との質問に、資料提出により「綿菓子機1、ワンタッチテント4、専用カーゴ4、専用ウェイト24、文字・ロゴ代4、ベニヤテーブル30、バルーン投光機1、宝くじシール70」との答弁です。次に民生費、社会福祉総務費の介護保険特別会計繰出金1,586万7,000円の増額は、平成30年8月からの介護保険制度改正に伴う介護保険システム開発委託料及び平成29年度の診療報酬支払基金交付金の精算に伴う償還金に充てるものです。生活保護総務費のシステム改修委託料226万8,000円の計上は、生活保護基準の見直し及び国へ報告する調査項目の追加に関するもので、事業費の2分の1が国庫補助金として歳入となります。主な質疑については「生活保護基準の見直し内容は」との質問に「主なものは生活扶助費基準、児童養育加算、母子加算、医療扶助の適正化、大学等への進学への支援など」との答弁がありました。「減額されるものと加算されるものの内訳は」との質問に「いずれも本年10月からで、生活扶助費は3年かけて基準からマイナス5%以内にとどめる。母子加算は子ども一人に対し月2万1,000円から3年かけて月1万7,000円に減額する。月1万円ほどの児童養育加算は、その対象を現在の中学生までから高校生までに延長」との答弁です。以上で民生福祉分科会の報告を終わります。

河野朋子副委員長 民生福祉分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。次に討論を行います。討論はありませんか。

山田伸幸委員 議案第52号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について反対の討論を行います。反対の理由は、民生費の中で生活保護基準の見直しによって生活保護費が減額になることとあります。生活扶助費と母子加算の減額は生活保護世帯への生活をますます厳しく圧迫することになる。このことは憲法に定められた最低限の生活を脅かすものであり、容認することはできません。以上の理由により、本議案に反対します。

河野朋子副委員長 ほかに討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で討論を終わります。これより、議案第52号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

河野朋子副委員長 賛成多数により、本件は可決すべきものと決定しました。  
次に付議事項の2番、議案第57号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第2回)について、総務文教分科会の報告を求めます。

伊場勇総務文教副分科会長 総務文教常任委員会所管部分について、6月22日に委員全員出席の下、総務文教分科会を開催し、慎重審査をしましたので報告します。議案第57号、平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第2回)についてですが、今回の補正は、山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員補欠選挙執行に要する経費として歳入歳出ともに123万円増額するものです。歳入では、県支出金として総務費委託金123万円の増額、歳出では、総務費として漁業調整委員選挙費123万円の増額です。質疑では「無投票になった場合どうなるのか」との質問に「必要経費以外の不用額が出たら、年度内に減額の補正をする」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

河野朋子副委員長 総務文教分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)以上で質疑を終わります。次に討論を行います。討論はありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)以上で討論を終わります。これより、議案第57号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

河野朋子副委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決定しました。  
以上で委員会を閉会いたします。

---

午前10時15分 散会

---

平成30年6月27日

一般会計予算決算常任委員会副委員長 河野朋子